

成功させよう 2012ぎふ清流国体ぎふ清流大会 “いびがわ三十モ通信”

いよいよ開幕！ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 ～ 揖斐川町炬火リレーが開催されました！～

【揖斐川町の炬火リレー】

8月25日(土)、揖斐川町炬火リレーが開催されました。

揖斐川町では、高山市乗鞍岳で採火された炬火「清流ぎふ 絆の炎(ひ)」を大野町より引き受け、26日(日)に池田町へ引き渡しました。谷汲・春日・久瀬・藤橋・坂内の各地域においても独自に採火した炬火を用い、全町一体で炬火リレーを実施することで、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開催機運の向上を図りました。

揖斐川地域を除く各地域の採火は、それぞれ地域の象徴となる場所で行われ、地元町議会議員、行政推進員、小中学生などの見守りながら採火された炬火で各地域をリレーしました。



▲谷汲山華厳寺で採火された「谷汲地域の火」

【各地域の採火場所】

谷汲地域	春日地域	久瀬地域	藤橋地域	坂内地域
谷汲山華厳寺	さざれ石公園	揖斐高原スキー場	徳山ダム堤体	夜叉ヶ池登山口 (鳥居付近)

【歓迎式】

県の炬火リレーコースとなった揖斐川地域では、リレー中、8番目の中継地となる揖斐川町役場で、歓迎式が行われました。

役場までのリレー隊は、揖斐川中学校吹奏楽部による演奏で迎えられ、炬火トーチ保持者の田口英暉さん(揖斐川中3年)から宗宮町長に炬火が渡り、炬火台に移された炎の前で行われた式典では、多くの来賓や関係者から歓迎の言葉が述べられました。

次のリレー隊への炬火の引き渡しには、宗宮町長、清水町議会議員、揖斐川地域行政推進連絡協議会の皆さんの協力によるセレモニー隊から引き渡され、炬火リレーが再開されました。



▲炬火は役場までのリレー隊から宗宮町長へ



▲ギフとフラッグの前で記念撮影



▲セレモニー隊から次のリレー隊へ

【沿道ではたくさんの応援、ありがとうございました！】



【左】「君が代」発祥の地、さざれ石公園で採火された「春日地域の火」

【右】揖斐高原で採火された「久瀬地域の火」



【左】揖斐川の源流域、徳山ダムで採火された「藤橋地域の火」

【右】夜叉姫伝説が伝わる夜叉ヶ池の登山口で採火された「坂内地域の火」

【集火式 ～思いをひとつに 炎をひとつに～】

揖斐川・谷汲・春日・久瀬・藤橋・坂内地域をリレーしたそれぞれの炬火は、各地域の最終リレー隊とともに16時に揖斐川健康広場に集まり集火式が開催されました。

集火式では、はじめに、揖斐川地域のリレー隊が運んだ「ギフとフラッグ」が式典会場に掲げられました。その後、6地域の炬火トーチ保持者によって6つの炬火がひとつに集められ、最終リレー隊を代表して、内藤潤人さん（揖斐川中3年）から、炬火リレーの終了と集火の完了が宗宮町長に報告されました。

全町一丸となってひとつになった「揖斐川町の火」は、宗宮町長とぎふ清流大会のバスケットボール競技に出場する安達智章さん（揖斐川町在住）の手によって、炬火台に点火されました。

式典会場では、きたがた幼稚園・やまと幼稚園・いび幼稚園・きよみず幼稚園・おじま幼稚園の5歳児の園児による鼓隊演奏や、揖斐川中学校吹奏楽部による演奏も披露され、華やかな雰囲気の中、多くの参加者が、間もなく開幕するぎふ清流国体・ぎふ清流大会の成功に向けて思いをひとつにしました。

ひとつになった「揖斐川町の火」は揖斐川町で開催される両大会で活用されます。



▲それぞれがひとつに集まり、「揖斐川町の火」となりました。



▲最終リレー隊代表による集火の報告



▲「揖斐川町の火」を炬火台に点火

みんなで応援しよう！国体・大会に挑む選手の皆さん ～ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 町内出場者の紹介～



【第67回国民体育大会 ぎふ清流国体】

競技名・種目	種別	氏名
バレーボール	少年男子	平井 貴之
バスケットボール	少年男子	赤土 裕典
		高橋 駿輔
		大野 翔一
ソフトテニス	少年男子	立木 雅也
軟式野球	成年男子	森本 裕人

競技名・種目	種別	氏名
ソフトボール	少年女子	野原 菜緒
ソフトボール	成年女子	鈴木 優子
空手道形	少年女子	大西 可奈子
公開競技 高等学校野球	硬式/少年男子	山元 駿介
柔道	少年男子	山田 竜平
ボクシング	成年監督	細野 光史

【第12回全国障害者スポーツ大会 ぎふ清流大会】

競技名	氏名
フライングディスク	小寺 真輝
バスケットボール男子	安達 智章

競技名	氏名
バスケットボール女子	石橋 あゆみ